

メディアコミュニケーション

No.	到達目標	評価基準					評価方法			
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格	課題1 20%	課題2 25%	課題3 35%	発表 20%
1	動画像表現における画面構成と構図が理解できる (C-2)	画面構成と構図が非常に理解され、効果的に使用されている。視聴者の注意を引き、内容を明確に伝える。	画面構成と構図に理解があり、効果的に使用されている。視聴者の注意を引き、内容の理解を容易にする。	画面構成と構図に基本的な理解があり、適切に使用されている。視聴者の注意を一定程度引きつける。	画面構成と構図の理解が最低限できているが、視聴者の注意を引く能力が限定的で、内容の伝達に支障をきたすことがある。	画面構成と構図がほとんど理解されおらず、視聴者の注意を引くことができない。内容が混乱しやすく、伝達が困難である。	○	○	○	
2	ビジュアル創作においてモンタージュを活用できる (C-2)	モンタージュの目的や意図を明確に理解し、非常に効果的に表現している。	モンタージュの目的や意図を良く理解し、大部分は効果的に表現している。	モンタージュの目的や意図を一部理解し、一部は効果的に表現している。	モンタージュの目的や意図を最低限理解し、表現が成立している。	モンタージュの目的や意図を理解せず、効果的な表現がない。		○	○	
4	複数カットを用いてメッセージや意図を表現できる (C-2)	複数のカットを巧みに組み合わせ、メッセージや意図を表現している。各カットは緻密に選ばれ、視聴者に強い印象を与える。	複数のカットを効果的に使用してメッセージや意図を表現している。カットの選択は適切であり、視聴者に明確な情報を提供している。	メッセージや意図を複数のカットで表現しているが、一部のカットがメッセージと連携していない。	カットの選択はできているが改善の余地があり、メッセージや意図を十分に表現できていない。	カットの選択が適切でなく、メッセージや意図が伝わらない。			○	
5	作品の意図および自身の考えを言葉で説明できる (C-2)	作品の意図や自身の考えを非常に明瞭かつ確に説明し、視聴者に十分な理解を与える。	作品の意図や自身の考えを明瞭かつ確に説明し、大部分の視聴者に理解を与える。	作品の意図や自身の考えを説明し、視聴者に一定程度理解を与える。	作品の意図や自身の考えを説明しようとしているが、説明が最低限である。	作品の意図や自身の考えを説明することができない。				○